

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2016

6月

No.132



特集 P2・3

つながりふくしプラン

平成27年度
事業・決算報告

5年次の取り組み

市民のみなさまと
共に歩んできた10年

一宮町 福野

ひ孫と
いっしょ

シリーズ131

たしたのぶ子さん(78歳)

○慧兎くん(2歳)

○碧人くん(0歳)

たしたなおきみゆき
田下 尚樹さん・美由貴さん

■長男・二男





10周年記念式典では、福祉活動功労者13名の表彰と、89のボランティアグループ・団体へ感謝状を贈呈(H27.9.6 山崎文化会館)

市民のみなさまと 共に歩んできた10年



宍粟市社会福祉協議会では、5月31日第29回評議員会を開催し、平成27年度の事業報告ならびに決算が承認されました。

27年度は、第2次地域福祉推進計画（5年間）の最終年次として掲げた活動を推進しました。今月号では、27年度に社協が取り組んだ活動と決算の概要についてお知らせします。

宍粟市社協が歩んできた 10年を振り返る

平成17年7月1日、宍粟郡4町で旧町の社協が合併し、宍粟市社会福祉協議会（以下、本会）として発足しました。

27年度は、本会が社協合併の10周年を迎えるにあたり、記念式典と講演会を福祉関係者・市民など約700名の参加を得て盛大に開催しました。

また、発足10周年記念誌を発

行するなど、10年間の歩みを振り返る一年となりました。

第3次地域福祉推進計画 （28年度～31年度）を策定

27年度は、第2次地域福祉推進計画の最終年次として、「つながりづくり」をキーワードに、様々な活動を展開しました。

そして、5年間の振り返りや新たな生活福祉課題を明らかにしながら、「第3次地域福祉推進計画」の策定作業を精力的に取り組みました。

計画については、この6月末の完成をめざしています。

昨年に続いて赤字決算 厳しさ増す活動財源

決算については、昨年度に続き赤字を計上しました。

本会の主要事業である地域福祉活動は、収益を生み出すもの

ではありませんが、ここでの支出をどれくらい抑制できるかが大きな鍵です。善意銀行や共同募金が年々減少している状況を重く受け止め、地域福祉活動への支出を収入財源に見合ったものにしていく必要があります。

しかし、地域福祉は今後ますます大切な活動であり、大幅な見直しは住民福祉の低下を招くこととなり、最低限必要な財源を確保することも必要です。

社協の経営改善計画 抜本的な見直しを

本会が、公共性・公益性の高い地域福祉を推進する中核的な団体として、その経営理念を明確にし、地域福祉財源や介護保険事業のあり方、人件費の見直し、職員配置等について早急に検討し、その方向性を「経営改善計画」として示すことが重要な課題です。

27年度の決算報告は、「特別号」のとおりです。事業報告、決算報告の詳細については、本会ホームページや本部各支部窓口でご覧いただけます。

（地域支援課長 波多野好則）

平成
27年度

地域福祉活動で“つながりづくり”

(事業報告書より一部掲載)

小地域福祉活動第2期モデル地区の取組み

「自治会域での福祉のつながりづくり」を目標に掲げ、26年度から第2期モデル地区として6自治会を指定し、その地域の状況に合わせた活動や組織づくりなど、活動目標の実現に向けた2年間の取り組みが終了しました。

五十波(山崎) 上ノ上(山崎)
上野田(一宮) 倉床(一宮)
日見谷(波賀) 中島(千種)



災害VC設置で宍粟市と協定調印

「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」の調印式があり、大規模災害時に社協が設置する「災害ボランティアセンター」について、**本会と市が協定を締結しました。**

同時に、災害発生時に**本会が運営するデイサービスセンターを「福祉避難所」とする協定も締結しました。**



ふれあい喫茶ボランティア講座

ふれあい喫茶の関係者に呼びかけ、喫茶活動に取り組む意義や運営で気になることなど意見交換を行い、**自治会との相談や連携、話し合いの場の必要性**など確認しました。



「支部かわら版」の発行

より身近な地域の福祉活動の情報を住民のみなさんにお知らせする「支部かわら版」。**各支部の地域福祉推進委員が編集等に関わり、地域に密着したかわら版を発行しました。**



4支部 8回

こどもホームステイ事業60周年記念フォーラム

昭和30年から続くこどもホームステイ事業が60周年を迎えるのを記念し、「**こどもの貧困**」等、**今日の子育てについて考えるフォーラム**を開催しました。



第3次地域福祉推進計画の策定

6月から策定を始めた、第3次地域福祉推進計画策定委員会に、**ボランティア、民生委員、当事者組織、NPO団体、地域活動者等、さまざまな立場の方に参画**いただきました。また、**職員レベルによる作業部会を設置し、委員会に必要なデータ収集や課題分析を行いました。**

策定委員会 10回
作業部会 23回



学校・地域・職場での福祉学習

学校での体験学習をはじめ、自治会での住民学習会など福祉への理解や関心を高める取り組みを進めました。また、市内の事業所等での学習会も実施し、「**学校・地域・職場**」での福祉学習の機会を作りました。

学校 26教室
地域(自治会) 13教室
事業所(職場) 1教室



歳末たすけあいサービス

歳末たすけあい募金配分金を活用し、昨年度に引き続き「**あったか灯油配達サービス**」を実施し、市北部域からの要望が高かった「**雪かきサービス**」を復活しました。

灯油S 283件
雪かきS 65回



遊具等備品の貸出

ふれあい喫茶やサロン、福祉学習会や運動会等で、**善意銀行預託金などを活用して整備した、遊具やDVD、プロジェクター等備品の無料貸出**を行いました。

貸出件数
523件



「食の生活支援パンフレット」の作成

買物や調理が困難な高齢者や障がい者の生活を支援する「**食の生活支援パンフレット**」を作成しました。このパンフレットでは、**市内でお弁当の宅配をする業者を紹介**しています。



やさしさ
まさき

地域に開けた介護事業所に

デザイナービスCHIAKI ほおずき山崎

5月27日(金)、山崎町鹿沢の「デザイナービスCHIAKI ほおずき山崎」に、誠心学園保育園(門前)の園児たち20人が来所し、利用者のみなさんと昔懐かしの歌に合わせた手遊びをしたり、紙風船やけん玉など交流を図りました。

この交流は、今年4月から、地域密着型通所介護事業所が、生活圏域に密着し、地域との連携が特に求められるようになったことをきっかけに、同じ地域内の誠心学園保育園に呼びかけ、今回が2回目の交流となりました。

藤本哲男施設長は、「事業所を、介護保険の利用者や家族だけではなく、地域の方にも知っていただき、身近に感じていただけるよう交流していきたい」と、抱負を話されました。



「おばあちゃんと紙風船で遊んで、楽しかった」と山下陽真くん。人懐っこい園児たちに、利用者の笑顔も満開です(ほおずき山崎)

(山崎支部 山本めぐみ)

子どもたちは、おじいちゃんおばあちゃんとふれあう機会が少ないので、とてもいい機会」と、地域交流の大切さを感じておられました。

市内の様々な介護保険事業所に、誰もが気軽に介護や福祉の相談ができ、地域に開けた場所になるよう、社協も情報発信をしていきます。

い
ちのみや

山里を元気にする新たな住人

公文かかしの会

5月27日(金)、「公文かかしの会」が、初めてかかし作りに取り組みました。

会の立ち上げ人、田中虎夫さんは、「東公文を孫世代が住みたくなるような村にしたい。そして、たくさんのかかしで山里を元気で賑やかにしたい」と、発足に至った思いを話されました。

当日指導されたのは、しらゆり会(千種町岩野辺)のみなさんです。千種町でしらゆり会のかかしを田中さんが見かけたのがきっかけで、参考にしたいと依頼されました。

「初めてで難しいけど、教えてもらったからええのができよるで」と、東公文公民館に集まった12人のメンバー同士、楽しみながら熱心に作業をされています。



「私たちが村を見守っています」(東公文公民館前)

この日は12体が完成し、公民館前、道路端、お大師さんにそれぞれ設置されました。住民同士が笑顔で暮らせる元気な地域を作りたい。かかしの会のような、地域の活性化につながる活動が、今後大切になってくることを、取材を通して強く感じました。

これから、公文の至るところでたくさんのかかしと出会えることと思います。山里を元気にする新たな住人が増えそうですね。

(二宮支部 岡崎章訓)

わしらが守る「道谷の宝」

旧校舎で第6ブロックのつどい

5月19日（木）、日ノ原以北の自治会（通称 第6ブロック）の高齢者を対象にした、出前型介護予防事業「第6ブロックのつどい」が旧道谷小学校体育館で開催されました。

このつどいは、鹿伏公民館で実施していますが、今回は参加者の要望から、旧道谷小学校で初めて行いました。

（波賀支部 田中祥仁）

インドゴルフをしたり、草刈りなど校舎の世話も計画しとるでな。わしらが守らんと」と話されます。

地域と共に歩んできた学校を地域の手で守る。老人クラブをはじめ、住民同士の支え合いで、学校が新たな地域活動の拠点として、今後様々な取り組みが行われるよう、本会ではみなさんの活動を応援していきます。

全国各地において学校の統廃合が進む中、閉校した学校をどのように活用していくのかは大きな課題です。同小学校においても、平成26年度を最後に閉校し、以降地域でも利用する機会がなく、旧校舎の利活用が大きな課題となっていました。

道谷老人クラブ会長の大田庫三さんは、「このつどいをきっかけに、今年は老人クラブでグラウ



「体育館に来ると昔に戻った気がするわ」子どもたちが作ったモニュメントや閉校時の横幕が当時のまま残っています(旧道谷小学校体育館)

第3火曜日は配食の日

千種民生委員児童委員協議会

毎月第3火曜日、千種民生委員児童委員協議会の定例会の後に、各地区の民生委員さんが、お弁当を配りながらひとり暮らし高齢者等のお宅を訪問しています。

この活動は、高齢者の安否確認を目的に、20年前から民生委員活動として、本会の配食サービスマンにご協力いただいています。

このように、短い時間でも出合つて会話をすることで、お互いの安心感を作りだす配食サービスは、顔の見える関係づくりに欠かせない事業です。

地域住民の身近な相談相手として活動されている民生委員さん。これからも地域の見守り役として、配食サービスにご協力をお願いします。

（千種支部 横山洋子）



「変わったことはないかいねえ?」の声掛けより話がはずみます(鷹巣自治会)

はが

ちくさ

バスに乗って参加しよう！

夏休みボランティアスクール



小学3年生
以上対象

小学3年生以上を対象にしたボランティア体験教室(4回シリーズ)を計画しました。
ボランティアスクールでは、社協各支部(山崎・一宮・波賀・千種)に集合し、公共交通
バス(こども片道100円)に乗って、それぞれの会場で行われる教室に参加します。
夏休みに新たなチャレンジ!みなさん、ぜひご参加ください。

日時・会場		内 容
1	7月27日(水) 午前10時30分～午後2時 会場:宍粟防災センター	◎ 防災について学ぼう 消防士さんのお話を聞こう。消防車の見学、 器具の体験、防災食の試食もあるよ!
2	8月3日(水) 午前10時 ～ 12時 会場:一宮保健福祉センター	◎ マジック体験 きみも今日から地域のマジシャン。マジックを 学んで、地域のイベントでやってみよう!
3	8月10日(水) 午前10時 ～ 12時 会場:メイプル福祉センター	◎ 盲導犬を知っていますか? とってもかしこい盲導犬がやってくるよ。盲導 犬や視覚障がいについて勉強しよう!
4	8月17日(水) 午前10時30分～12時30分 会場:千種保健福祉センター	◎ 絵手紙ボランティア体験 自分だけの絵手紙を作って、おじいちゃん、お ばあちゃんに元気を届けよう!

●定員:20名(先着順) 参加費:バス代実費 持ち物:お弁当・お茶・筆記用具

学校を通じチラシを配布しますので、詳しくはチラシをご覧ください。

※上記の時間は教室の開始・終了時間です。バスの集合出発・到着時間はチラシに掲載しています。

※この教室は子どもたちが楽しく学び体験ができるように、地元で活躍のボランティアのみなさんに
協力いただき実施します。

広げよう!ボランティアの輪! ～宍粟市ボランティア連絡会～

宍粟市ボランティア連絡会は、各支部(山崎・一宮・波賀・千種)のボランティア連絡会に加入するグループが会員となっています。会員同士で交流を図ったり、研修の機会を設けたり、会員同士楽しみながら情報交換を行うことで、活動の輪を広げています。

また、宍粟市社会福祉協議会が計画する事業や市内のさまざまなイベント・行事にも積極的に参加し協力されています。

～28年度の事業計画から～

- ボランティアのつどい(会員相互の交流)
- 阪神淡路大震災・東日本大震災の追悼行事(竹筒づくり・ロウソクづくりなど)
- 各支部「ボランティアの日」での清掃活動
- 各支部研修会の計画実施(視察・講演会)
- ボランティア情報紙の発行
- 各支部イベントやまつりの開催
- ボランティア交流会の開催 など



ボランティアのつどい



施設等での清掃活動



交流スポーツ大会



1.17のロウソクづくり